

令和7年度

土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム運営協議会

令和7年7月1日（火）
於：下関市豊北生涯学習センター



小串公民館の出前講座風景（令和6年8月7日）



豊北小学校教員研修の風景（令和6年7月29日）

2025年

土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム

令和7年度 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム運営協議会 日程

日時：令和7年（2025年）7月1日（火）13:30～

場所：下関市豊北生涯学習センター

I 委任状交付

II 教育長あいさつ

III 人類学ミュージアム館長あいさつ

IV 委員及び職員紹介

V 会長及び副会長選出

VI 報告

A 令和6年度(2024年度)事業報告及び来館者状況について

1. 令和6年度（2024年度）事業報告
2. 令和6年度（2024年度）来館者状況

B 令和7年度(2025年度)主要事業等について

VII 協議

VIII その他

土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム運営協議会委員名簿

任期：令和7年(2025年)6月1日～令和9年(2027年)5月31日

No.	氏名	所属等	区分
1	わたなべ かずお 渡辺 一雄	元梅光学院大学教授	学識経験者
2	ふじの つねひこ 藤野 常彦	神玉地区振興協議会 会長	地元関係者
3	さ さ き たけし 佐々木 猛	ミュージアム友の会 会長	
4	うえき やすよ 植木 康代	(株) リージョナルマネージメントコミュニティーマネージャー	
5	おおもり まり こ 大森麻里子	豊北町女性団体連絡協議会 会長	
6	はらだ けいこ 原田 恵子	豊北文化協会 事務局長	
7	しょうじ りゅうじ 庄司 隆治	豊北町観光協会 顧問	
8	やまだ み わ こ 山田美和子	郷土史家	
9	やまだ けいこ 山田 恵子	豊北小学校 校長	学校教育関係者
10	さくらい けいこ 櫻井 敬子	豊北中学校 校長	

(敬称略) (順不同)

《参考条文》

土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムの設置等に関する条例 (抜粋)

(運営協議会の設置)

第5条 人類学ミュージアムに土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム運営協議会(以下「運営協議会」という。)を設ける。

2 運営協議会の委員は、学識経験者及び地元関係者等で構成する。

3 運営協議会には、部会を設けることができる。

4 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムの設置等に関する条例施行規則 (抜粋)

(運営協議会の会長及び副会長)

第6条 条例第5条に規定する運営協議会に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、運営協議会委員(以下「委員」という。)の互選により定める。

3 会長は、会務を総理し、運営協議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときはその職務を代理する。

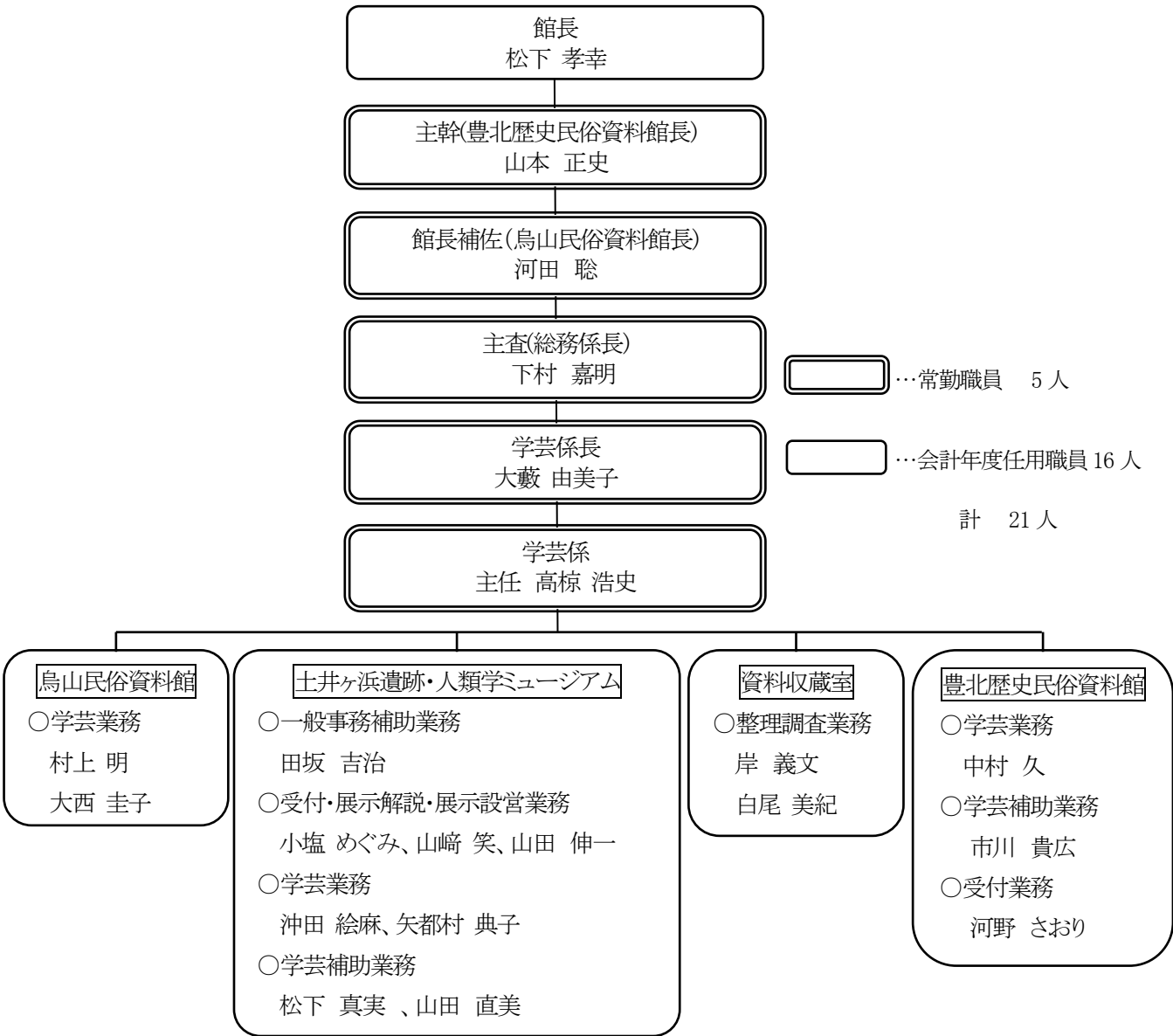
(運営協議会の会議)

第7条 運営協議会の会議は、必要に応じて会長が招集し、その議長となる。

2 運営協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 運営協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数の場合は議長の決するところによる。

令和7年度(2025年度) 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム職員配置 (R7年4月1日現在)



令和7年度(2025年度)土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム歳入歳出予算 (当初)

〈歳入〉(財源内訳)		〈歳出〉		(単位: 千円)
科 目	金 額	科 目	金 額	
使用料 (観覧料等)	1,091	管理運営費	34,035	
国庫補助金	250	調査研究費	11,844	
地方債 (過疎債)	11,900			
諸収入 (図書等頒布収入)	440			
一般財源	32,198			
合 計	45,879	合 計	45,879	

(鳥山民俗資料館、豊北歴史民俗資料館及び資料収蔵室関係を除く)

VI 報告

A 令和6年度(2024年度)事業報告及び来館者状況について

1. 令和6年度(2024年度)事業報告

1) 教育普及活動

(1) 企画展

①第1回企画展

「ホネ ver. 2024」

令和6年6月4日(火)～令和6年9月1日(日)

(来館者2,783名／開館日数78日)

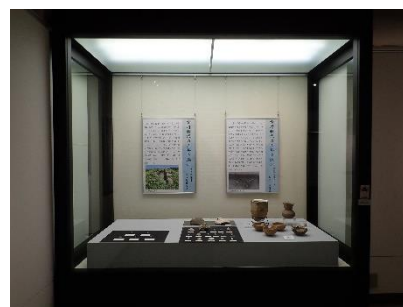


②第2回企画展

「出土遺物が語る 古代・中世の土井ヶ浜」

令和6年9月10日(火)～令和6年12月8日(日)

(来館者2,925名／開館日数78日)



③第3回企画展

「発掘調査の成果から浜出祭を考える」

令和6年12月17日(火)～令和7年5月18日(日)

(来館者3,207名／開館日数128日)



● 評価および今後の課題

第1回企画展は、夏休み期間の開催であったため小さい子どものいる家族連れが多く、ヒトや動物の骨格への興味をもって来てくれていた。また、展示の内容とホネの発掘体験の内容がリンクしていて、体験後に展示を再度みる人も多かった。今回は、A3で作った展示パネルの内容を入れたリーフレットをHPからダウンロード出来るようにしたが、あまり利用がなかったため紙媒体での配布も検討する必要がある。

第2回企画展は、土井ヶ浜の古代と中世にスポットをあて、これまでの弥生時代の様相と異なる展示物があり、特に陶磁器の出土に興味を持ってみる人がいた。ただその反面、土井ヶ浜の人骨の展示が少なく、もっと見たいという意見もあった。企画展だけでなく、常設展も含めて実物の人骨資料をみたいというニーズへの対応も検討する必要がある。ただし、人骨は遺骨でもあり、人間の尊厳に対する配慮も必要である。そのことを考慮しながら例えば、レプリカを展示することによって、来館者のニーズを満たす展示手法を考えていきたい。

第3回企画展は、浜出祭に興味をもって来館する人が多く好評であった。そうした方やより祭のことを知りたい人のために、リーフレットや図録を作製したが、企画展の開始より少し遅れての頒布となったことが反省点である。

(2)体験学習・講座

①体験学習

ア)「人骨模型の発掘体験 ホネホネウォッチング」

場所 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム

本館 ロビー

日程 随時開催



イ) 花卉状貝製品の腕輪づくり

場所 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム

・館内で製作される場合 本館 ロビー

・持ち帰っての製作可能

日程 令和6年7月27日より

販売価格 500 円

販売形態 在庫なくなり次第終了

(令和6年度分8月終了)



ウ) マガキガイの指輪づくり

場所 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム

・館内で製作される場合 本館 ロビー

・持ち帰っての製作可能

日程 令和6年7月27日より

販売価格 500 円

販売形態 在庫なくなり次第終了

(令和6年度分8月終了)



②体験講座

「作ってみよう！古代の貝のアクセサリー
二枚貝の腕輪づくり」

場所 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム

弥生パーク内 休息所「ほねやすめ」

日程 令和6年8月4日(日) 計 11 名



(3) 出前講座の実施

当館の教育普及事業の一環として、利用者の希望に応じて公民館・学校等の館外へ出向き、出前授業（社会科・理科授業）を実施した。

①場所 小串公民館

日程 令和6年8月7日（水） 計13名
（児童5名、大人8名）



②場所 下関市立室津小学校

日程 令和6年9月11日（水） 計18名
（児童13名 大人5名）



③場所 下関市立西市小学校

日程 令和6年11月6日（水） 計42名
（児童36名 大人6名）



④場所 下関市立誠意小学校

日程 令和6年11月10日（日） 計37名
（児童34名 大人3名）



⑤場所 ふくふくこども館

日程 令和6年11月23日（土） 計80名



⑥場所 下関市立文関小学校

日程 令和7年2月13日(木) 計70名
(児童65名 大人5名)



⑦場所 下関市立豊北小学校

日程 令和7年2月20日(木) 計26名
(児童24名 大人2名)



(4) 講座・講演・講義

①青森学術文化振興財団公開講座開催事業

「縄文と世界の遺跡を比較するー古病理学の視点ー」
での講演 大藪 由美子

主催 青森公立大学

日程 令和6年7月28日(日)



②「浜出祭について学ぼうー由来伝承を中心にー」

の講演 矢都村 典子

主催 田耕公民館

日程 令和7年1月19日(日)



③校外体験学習「夏休みディスカバリープロジェクト」(山口県立下関西高等学校)

会場 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム

日程 令和6年8月6日(火) 探求科1年生 17名、教員 3名

④インターンシップ受け入れ(下関商業高校1年生 2名)

会場 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム

日程 令和6年12月10日(火)～12月11日(水)

2) 連携事業

①ふるさと学習「赤米の田植え・稲刈り」(下関市立豊北小学校)

内容 下関市立豊北小学校との共催により、5年生がふるさと学習の一環として、古代米である「赤米」の田植えを紐や田植え定規を使っておこない、秋には石庖丁や貝庖丁を使って稲刈りをおこなった。

田植え：令和6年6月11日(火)

稲刈り：令和6年10月30日(水)



②教員のための博物館の日2024(国立科学博物館・公益財団法人日本博物館協会共催)

- 内容 1. 講義「豊北町内にある遺跡の紹介」
2. 講義「土井ヶ浜遺跡と弥生人の話」

日程 令和6年7月29日(月)

③山口大学埋蔵文化財資料館との連携協力

内容 下関市蓋井島に所在する筏石(いかだいし)遺跡を対象に合同調査を実施。

日程 令和6年7月30日(火)

④博学連携事業「地域探求(歴史伝統・文化文芸グループ)事業」(山口県立下関北高等学校)

●授業の目的

山口県立下関北高等学校では、地域の現状と課題を知り、地域の情報を自分たちで収集して考察をおこない、そこから地域の活性化にむけた取り組みを実践している。当館では2023年度から地域の現状を確認し、現状から課題を発見するとともに、解決する方向性と方法を模索、実践していくために、豊北町の歴史を基本に据えて、あらゆる項目について現状を把握する「エンサイクロペディア・豊北」プロジェクトを始めた。この授業を通して、生徒が地域の人々とかかわり、地域の現状と歴史を学びながら、「豊北町歴史ガイドブック」を作成する計画である。

●授業の内容

今年度は角島の歴史と飲食店の調査をおこなった。歴史は木簡の碑、万葉の歌碑、牧崎の牛牧の跡地、角島灯台、角島砲台、中本たか子生誕地碑を巡り、現地の状況を確認するとともに、それぞれの歴史を調べた。飲食店の調査は、グランビスタ角島で店内の雰囲気やメニューなどの調査をおこなった。

3) 関連事業

①子どものための地域の魅力体験・発信事業

「夏休みの思い出を探しに行こうよ！2024 こども文化パスポート」

北九州市教育委員会主催

期間：令和6年 7月19日（金）～ 令和6年9月1日（日）

夏休み期間中の子ども達を対象として赤米を無料配布。夏季パスポート利用入場者101名

②「35 遺跡 38 施設連携企画 弥生の御朱印巡り全国版」

鳥取県・とっとり弥生の王国推進課主催

開始：令和6年10月30日（水）～

令和4年から始まった弥生の御朱印巡りに新たに9遺跡9施設が加わり全国版となった。

当館では、発掘調査で出土した1号人骨をプリントした専用用紙に「土井ヶ浜遺跡」の御朱印を押印して希望者に配布している。

③「大解剖からくりワールド やまぐちミュージアムリレー」山口県立博物館主催

期間：令和6年7月13日（土）～令和6年9月1日（日）

県内27ヶ所の内、山口博物館他、3ヶ所を巡るスタンプラリーの参加施設としてスタンプ台を設置。

4) 調査・研究

①古人骨資料の調査依頼（大藪 由美子）

令和7年2月6日（木）～2月22日（土） バハレーン国マカバ古墳群出土人骨の現地調査を実施。

②浜出祭事前調査（矢都村 典子）

令和6年11月3日（日）～令和7年3月31日（月） 豊北町田耕・神玉地区

③浜出祭準備映像記録の作成

令和7年4月6日に開催される、豊北町最大の民俗祭礼行事「浜出祭」の準備の様子を動画で撮影し記録した。

5) 広報等

(1) 広報活動

土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムのホームページを更新し、ミュージアムの基本情報の掲載と企画展等の最新情報を発信している。また、令和6年度から当館でこれまでに作製した図録集等をHPで紹介し、頒布している。

(2) ポスター・チラシ

第1回企画展 「ホネ ver. 2024」 チラシ



第2回企画展 「出土遺物が語る 古代・中世の土井ヶ浜」 チラシ



第3回企画展 「発掘調査の成果から『浜出祭』を考える」 チラシ

[illegible][illegible]

体験学習「作ってみよう！古代の貝のアクセサリー 二枚貝の腕輪づくり」 チラシ

[illegible]

二枚貝の腕輪をつくろう！

指がらにも打ちつけて、穴をあけます。

穴を少しずつ削りながら、穴を左右で調整します。

穴のふちをきめておいて、全体をみがいて完成。

じょうろ型や
やまゆりにつくられた
アクリルキーホルダーです

ほかにもあるよ！人類学ミュージアムでもできる、体験学習プログラム

ホネの発掘体験

(定時体験)

本館エントランスにて、人類学館の発掘体験ができます。入場料、費財にわずらひなくください。(要予約体験)

貝のアクセサリーづくり

※7月末から要観客定室

マガキガイのゆびわ

マガキガイという殻の厚みで調節することができ、ワックスで仕上げに仕上げたもので、完成品です。(要予約体験)

貝がらのブレスレット

貝がらを型で削り、糸に通して、仕上げにワックスで仕上げたもので、完成品です。(要予約体験)

CSの体験材料は無料 (300円) 10分程度です

体験プログラムの詳しい内容については、人類学ミュージアムまでお問い合わせください

〒519 6121 山形県下市町北町神田上891-8

TEL 083-788-1841 FAX 083-788-1843

③ミュージアムホームページ画面



④ Facebook



(3) 年報

令和6年（2024年）度の当館の活動報告として年報を作成した。

2. 令和6年度（2024年度）来館者状況

令和6年度の土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムの開館日数は308日で、来館者数は9,173人、来館者数は前年度に比べると2,487人減少した。令和2年より始まった新型コロナウイルスの影響もなくなり、修学旅行の行先も従来の型に戻ったことで、修学旅行による入館者が減少した。そのなか、有料来館者数は、令和5年度は6,096人に対して、令和6年度は6,202人とわずかながら増加した。しかし、修学旅行の入館者数の減少を上回ることとは出来ず、来館者数は前年度を下回る結果となった。

表1. 月別来館者数

土井ヶ浜遺跡人類学ミュージアム観覧者数一覧表

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計	累計
平成5年度(1993年度)	—	29,457	12,246	9,915	17,065	9,401	11,302	12,728	7,184	5,809	7,828	10,278	133,213	133,213
平成6年度(1994年度)	9,533	18,389	7,707	6,954	11,557	7,191	8,297	9,465	3,022	3,269	2,931	4,622	92,937	226,150
平成7年度(1995年度)	5,806	16,289	5,998	3,922	8,863	4,579	7,913	5,814	2,215	2,770	2,809	3,480	70,458	296,608
平成8年度(1996年度)	5,169	16,335	4,119	5,256	9,322	5,886	6,272	5,147	1,718	1,700	1,983	3,247	66,154	362,762
平成9年度(1997年度)	4,560	12,164	3,380	3,000	6,987	3,155	4,872	3,639	1,282	1,312	1,556	2,978	48,885	411,647
平成10年度(1998年度)	3,546	11,039	2,751	3,990	6,255	3,013	3,268	3,515	1,049	1,262	1,612	1,961	43,261	454,908
平成11年度(1999年度)	2,445	9,089	2,314	2,191	4,872	2,080	3,165	2,813	1,074	1,147	1,420	2,164	34,774	489,682
平成12年度(2000年度)	2,620	6,823	2,101	2,616	5,035	2,586	3,483	6,093	1,581	1,468	2,304	2,894	39,604	529,286
平成13年度(2001年度)	4,406	6,543	2,692	2,581	4,450	2,642	3,090	3,244	1,038	1,331	1,588	1,898	35,503	564,789
平成14年度(2002年度)	2,636	5,263	2,428	2,351	4,509	2,738	2,481	2,492	822	704	823	1,281	28,528	593,317
平成15年度(2003年度)	1,525	3,476	1,937	1,963	3,769	2,020	2,343	1,783	632	617	984	1,390	22,439	615,756
平成16年度(2004年度)	1,671	3,715	1,425	1,416	2,697	1,458	1,801	2,016	701	696	653	995	19,244	635,000
平成17年度(2005年度)	1,490	2,636	1,572	2,114	4,098	1,782	1,820	1,601	513	469	844	1,214	20,153	655,153
平成18年度(2006年度)	1,256	2,585	1,077	2,040	3,451	1,533	2,014	1,390	821	630	791	1,016	18,604	673,757
平成19年度(2007年度)	1,274	2,462	1,072	1,766	3,256	1,592	1,538	1,290	874	736	930	1,331	18,121	691,878
平成20年度(2008年度)	1,513	2,555	1,050	1,860	3,092	1,423	1,538	1,341	877	637	884	1,131	17,901	709,779
平成21年度(2009年度)	968	2,350	908	1,041	2,589	1,871	1,536	939	360	595	449	963	14,569	724,348
平成22年度(2010年度)	1,089	1,749	1,015	846	1,916	1,055	1,090	1,016	341	297	569	653	11,636	735,984
平成23年度(2011年度)	1,065	1,718	641	1,217	1,747	993	850	1,026	270	390	369	751	11,037	747,021
平成24年度(2012年度)	1,273	1,704	696	1,191	2,177	1,143	1,033	962	394	328	447	644	11,992	759,013
平成25年度(2013年度)	913	1,517	515	1,063	1,741	944	988	721	383	391	558	945	10,679	769,692
平成26年度(2014年度)	793	1,481	758	902	1,784	965	636	790	308	285	384	594	9,680	779,372
平成27年度(2015年度)	739	1,272	738	892	1,655	1,148	957	668	347	373	431	530	9,750	789,122
平成28年度(2016年度)	829	1,376	750	1,045	2,095	927	1,001	679	350	303	390	780	10,525	799,647
平成29年度(2017年度)	666	1,292	572	898	1,998	969	833	581	231	419	372	633	9,464	809,111
平成30年度(2018年度)	1,063	1,174	596	715	2,007	729	748	724	469	417	455	772	9,869	818,980
令和元年度(2019年度)	812	1,552	717	888	1,539	747	595	583	267	315	483	30	8,528	827,508
令和2年度(2020年度)	20	39	378	697	1,269	1,357	1,893	1,091	799	193	460	485	8,681	836,189
令和3年度(2021年度)	542	476	195	1,027	1,150	476	2,158	1,838	754	326	329	756	10,027	846,216
令和4年度(2022年度)	724	1,306	863	827	1,366	1,166	1,635	1,369	406	332	436	694	11,124	857,340
令和5年度(2023年度)	556	1,943	1,911	722	1,489	997	1,226	828	304	420	570	694	11,660	869,000
令和6年度(2024年度)	637	887	621	652	1,530	1,154	1,110	707	330	315	429	801	9,173	878,173

図1. 開館以来の年間来館者数推移

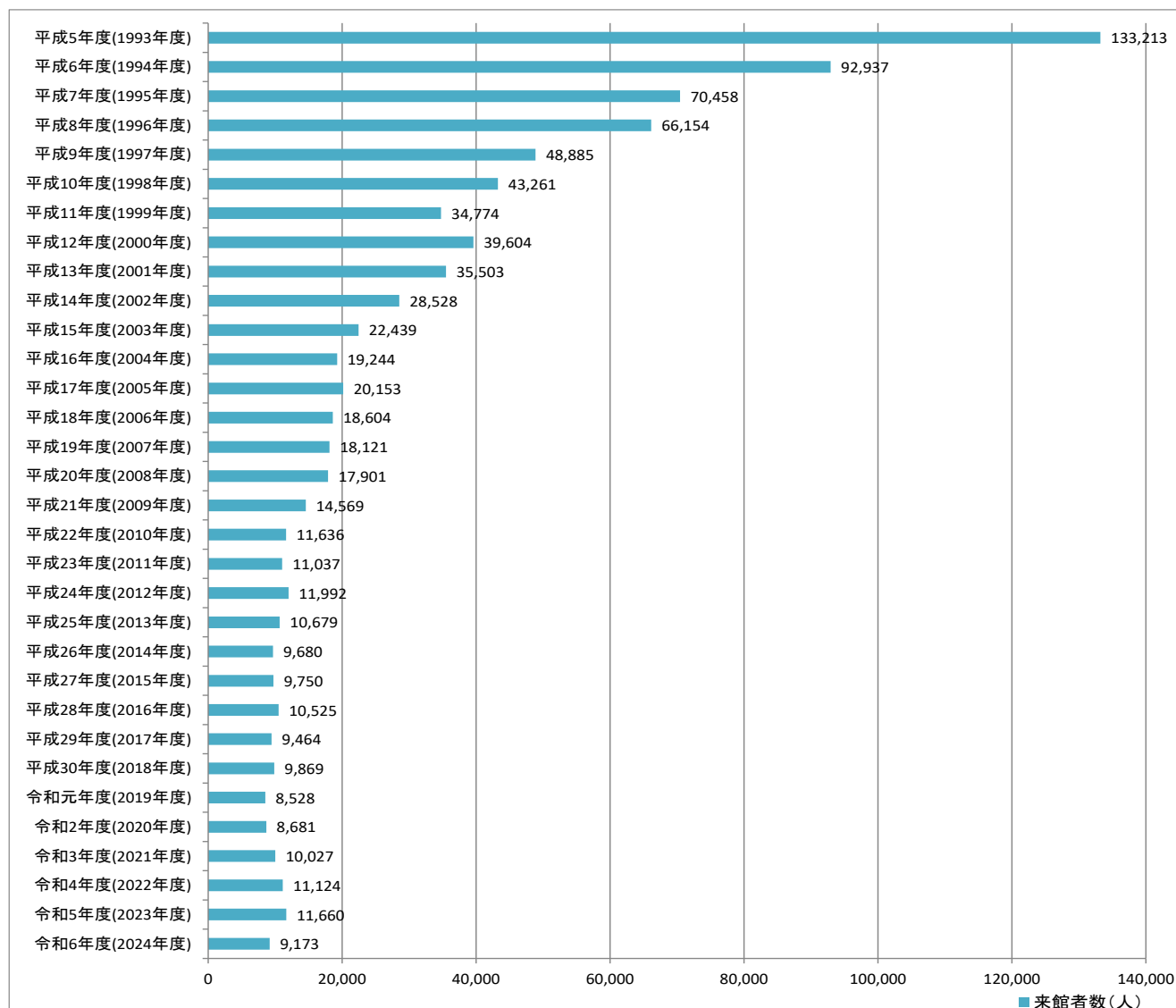


図2. 過去5年間の月別の来館者数推表表2.

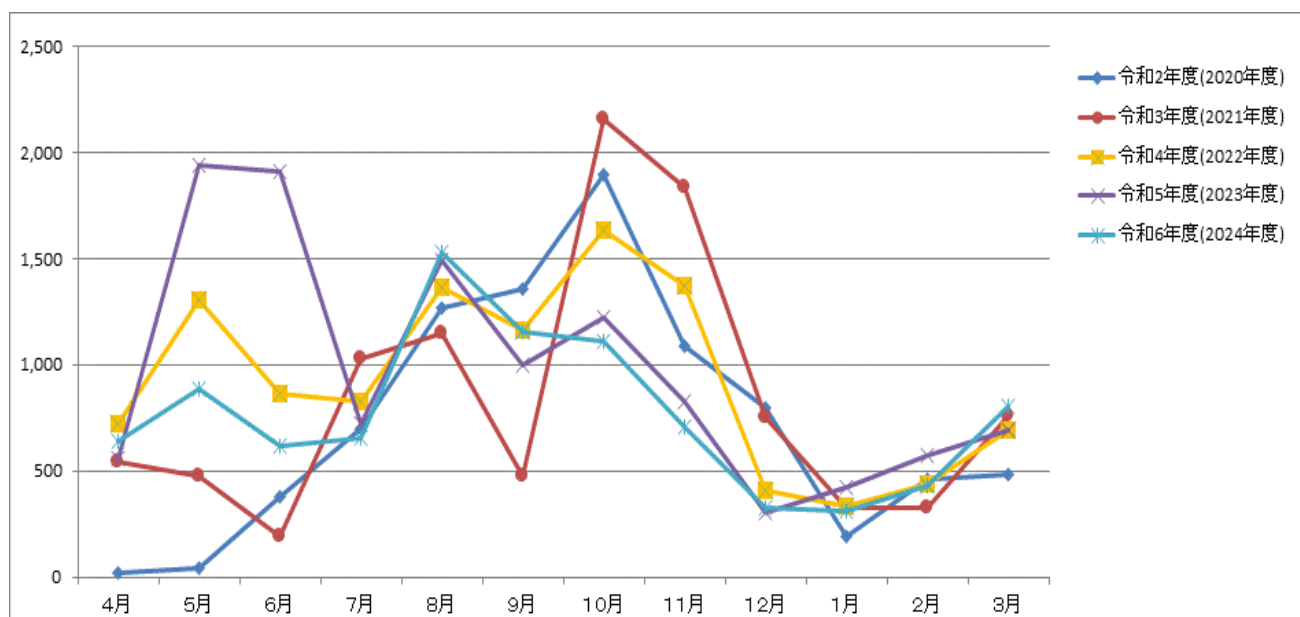


表2. 過去10年間の観覧料別来館者数

年 度	観覧料区分						計
	一 般	一般団体	学 生	学生団体	下関・北九州市 65歳以上	無 料 (減免含む)	
平成27年度 (2015年度)	4,626	384	198	0	—	4,542	9,750
平成28年度 (2016年度)	5,644	0	206	90	—	4,585	10,525
平成29年度 (2017年度)	5,009	329	191	0	—	3,935	9,464
平成30年度 (2018年度)	5,176	61	214	0	—	4,418	9,869
令和元年度 (2019年度)	4,439	158	175	0	186	3,570	8,528
令和2年度 (2020年度)	3,592	21	151	0	261	4,656	8,681
令和3年度 (2021年度)	3,613	47	160	50	344	5,813	10,027
令和4年度 (2022年度)	4,472	212	184	40	460	5,756	11,124
令和5年度 (2023年度)	5,053	247	224	79	493	5,564	11,660
令和6年度 (2024年度)	5,229	325	248	0	400	2,971	9,173

令和6年度は、一般、一般団体、大学生等の有料来館者数は微増（+106人）となり、令和5年度の来館者数を上回ったが、無料来館者数は修学旅行の減少により大幅減（△2,593人）となった。

図3. 過去10年間の観覧料別来館者数推移

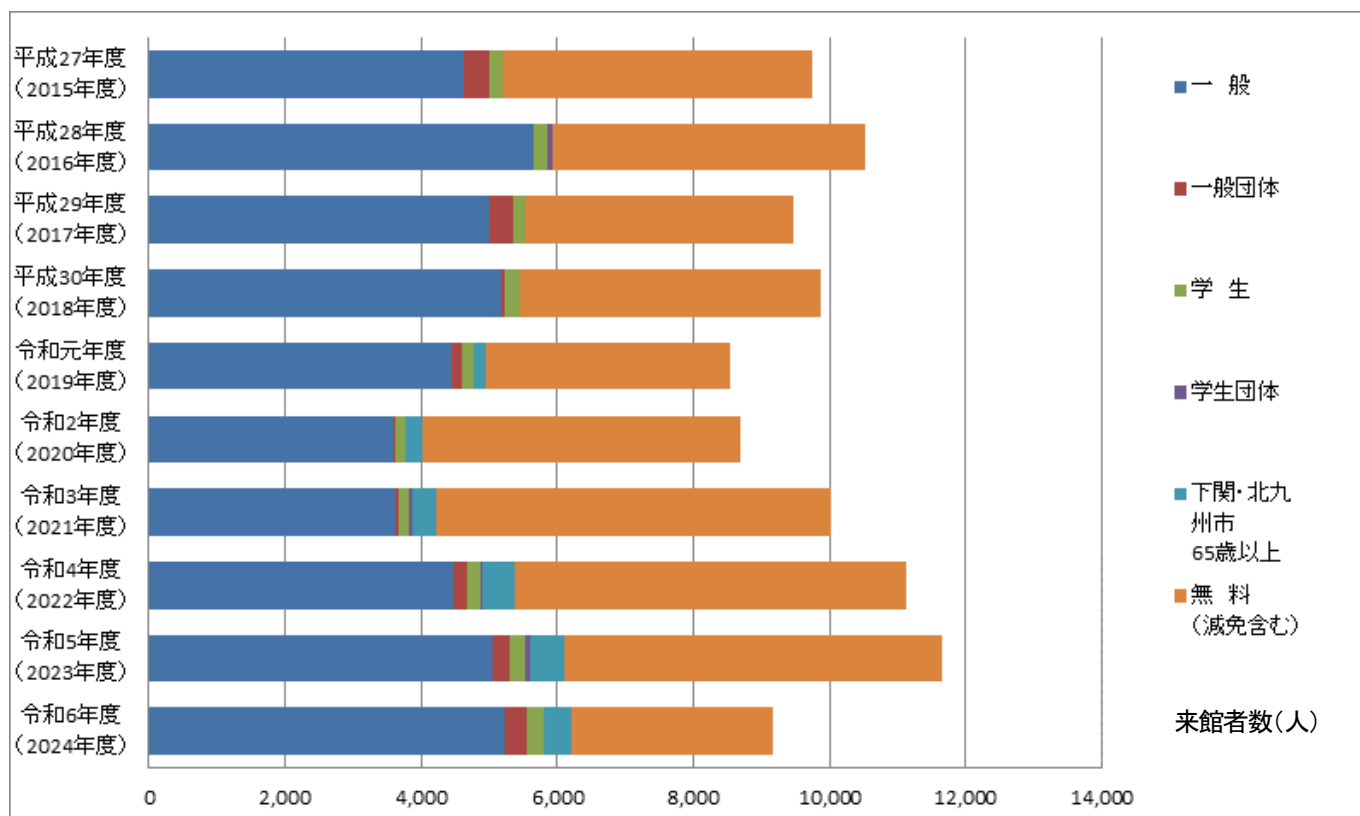


表 3. 団体来館者の件数と人数調べ（前年度との差）

		件数			人数		
		令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	対前年度 件数比	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	対前年度 人数比
団体来館者総件数・人数		61	43	-18	3,841	1302	-2,539
	学校団体総件数・人数	43	15	-28	3,301	694	-2,607
	(内 修学旅行)	34	11	-23	3,073	636	-2,437
	(内 社会見学等)	9	4	-5	228	58	-170
	一般団体総件数・人数	18	28	10	540	608	68
	(内 福祉関係)	2	1	-1	71	21	-50
	(内 旅行会社等)	16	27	11	469	587	118

※団体来館者とは、旅行会社、学校関係、福祉関係等から依頼を受けたものと、その他の団体を集計

表 4. 令和 6 年度（2024 年度）修学旅行のまとめ

県別	5 月	6 月	9 月	10 月	11 月	計
山口県				1 校 (79 人)		1 校 (79 人)
広島県	1 校 (53 人)	1 校 (25 人)	5 校 (317 人)	2 校 (61 人)	1 校 (101 人)	10 校 (557 人)
計	1 校 (53 人)	1 校 (25 人)	5 校 (317 人)	3 校 (140 人)	1 校 (101 人)	11 校 (636 人)

小学校	11 校 (636 人)
-----	-----------------

新型コロナウイルスの影響がなくなり、県外へ修学旅行に行く従来の形へ戻ったため、県内校の見学が減少した。また 2024 年は、海響館のリニューアルによる休館があったため、県外校の修学旅行の見学も減少した。今後も旅行会社等へ企画展のポスター・チラシ等を配布し、来館者の集客に努めていきたい。また、来館者増を図るために高校生以下の子どもたちや、保護者などへアピールし、様々な企画展やイベント等を開催するとともに、ホームページを活用し情報の発信、拡散を進めていく。

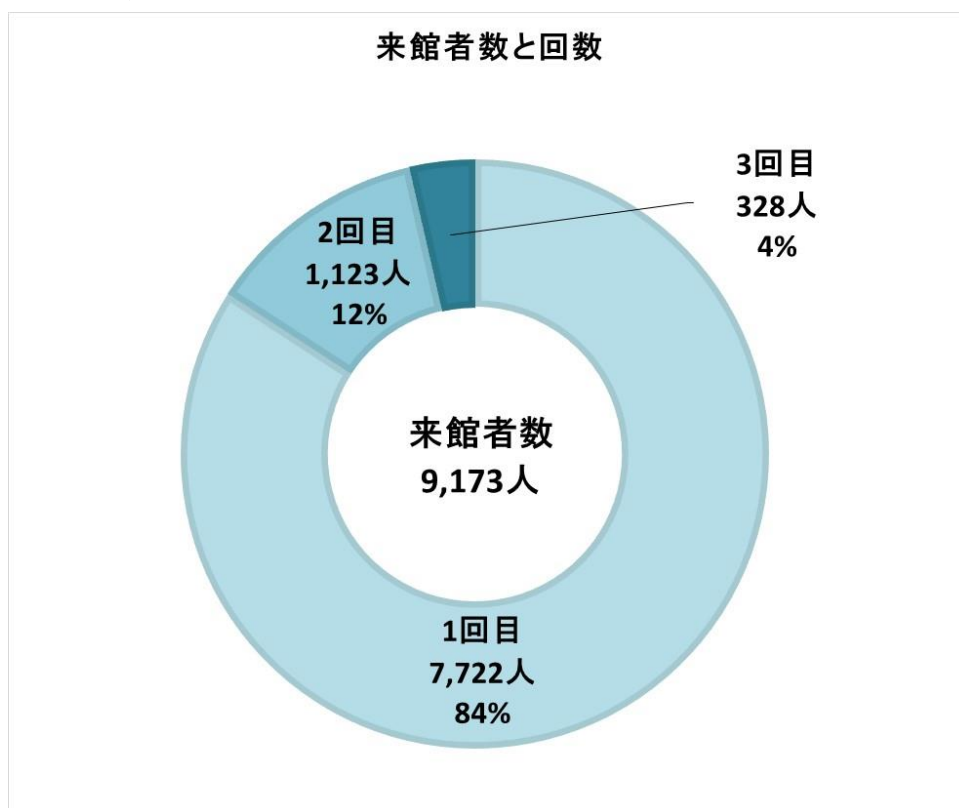
《令和6年度リピーターの推移数》

令和6年度の来館者の来館回数とその人数（令和6年4月～令和7年3月）
（来館回数については、受付にて口頭で確認したもの）

表 5. 令和6年度来館回数

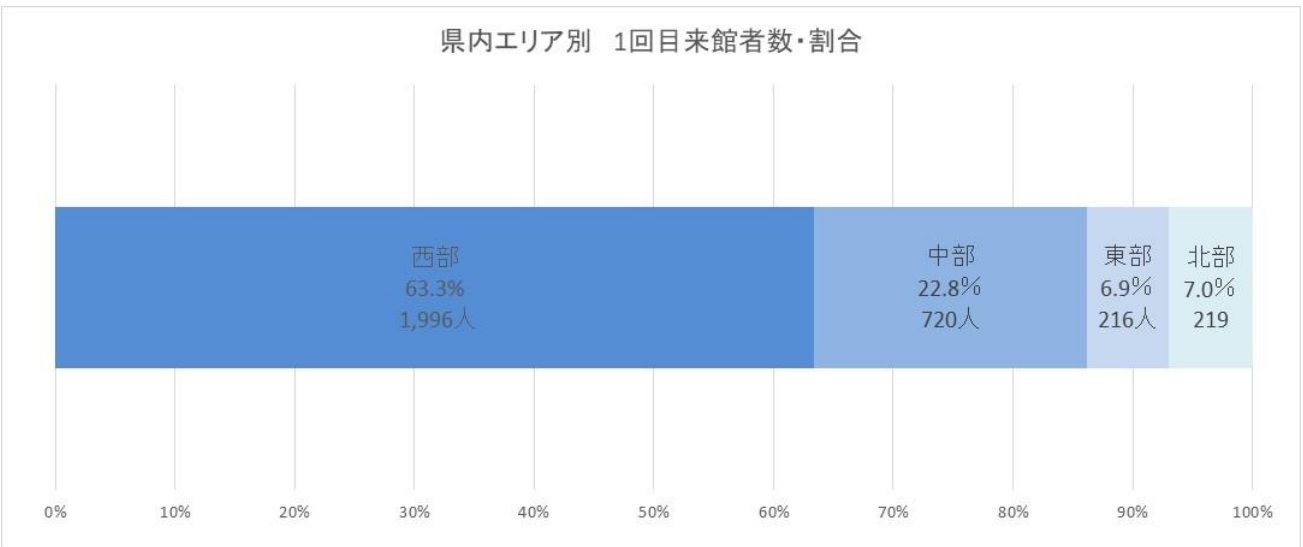
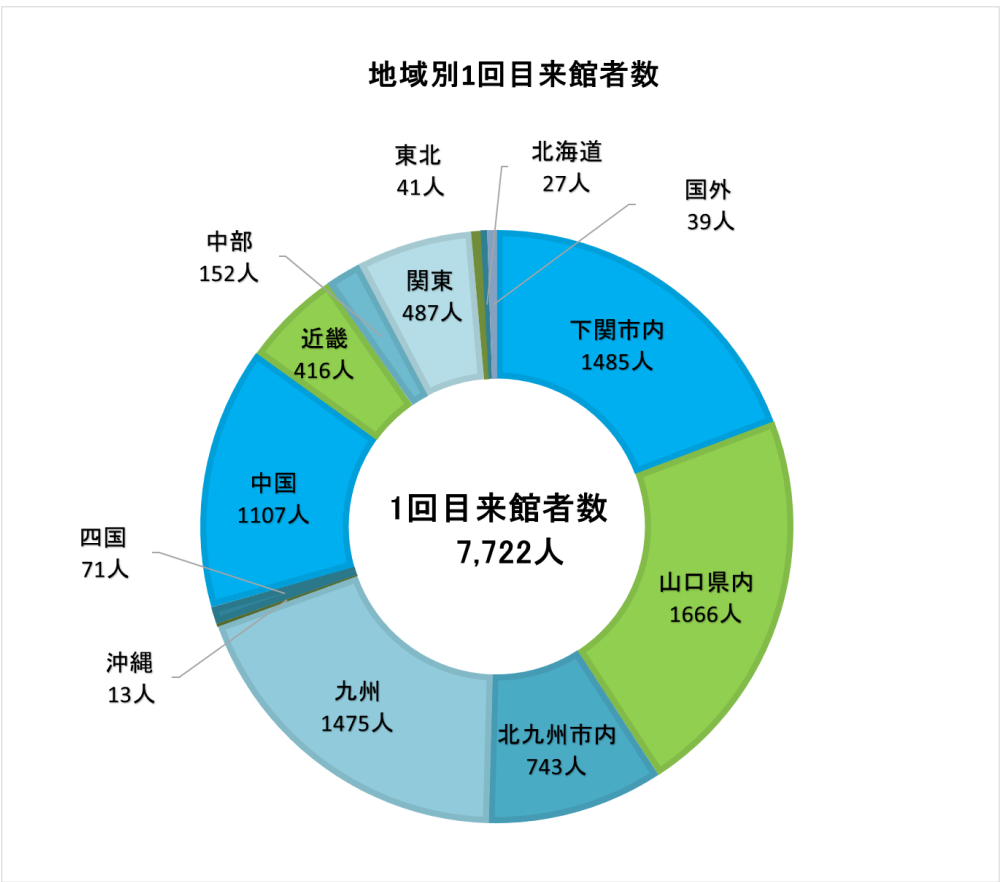
来館回数	1 回目	2 回目	3 回目以上	未回答	合計
回答数	7,722	1,123	328	0	9,173

図 4. 令和6年度来館回数とその人数



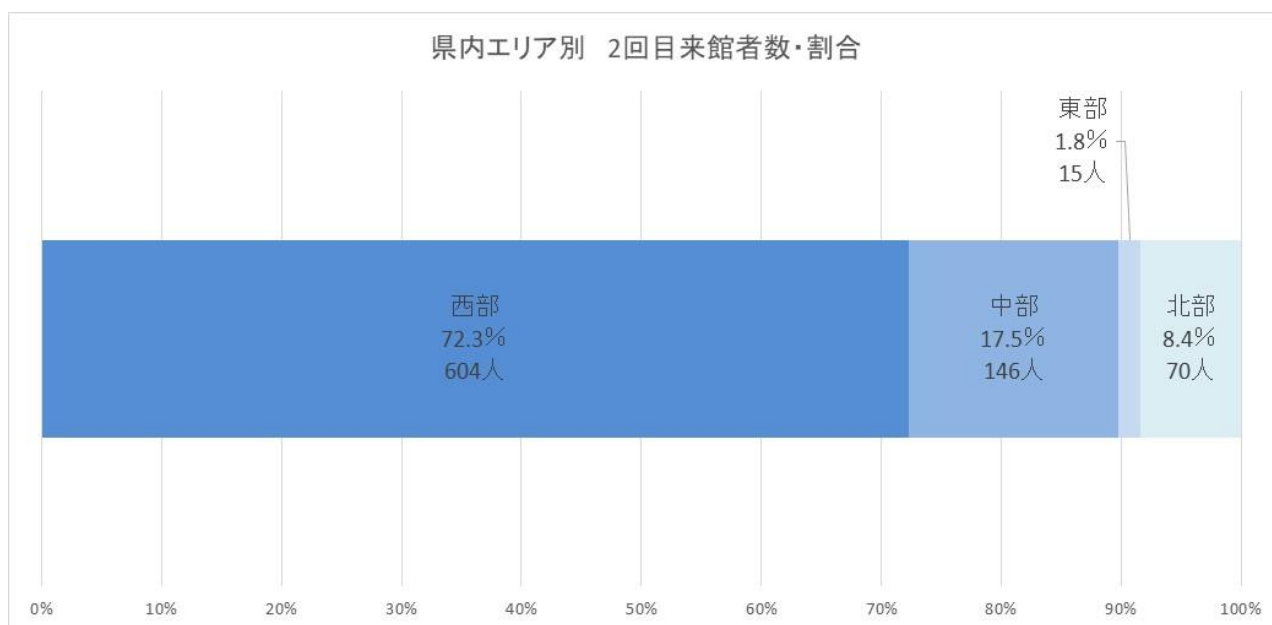
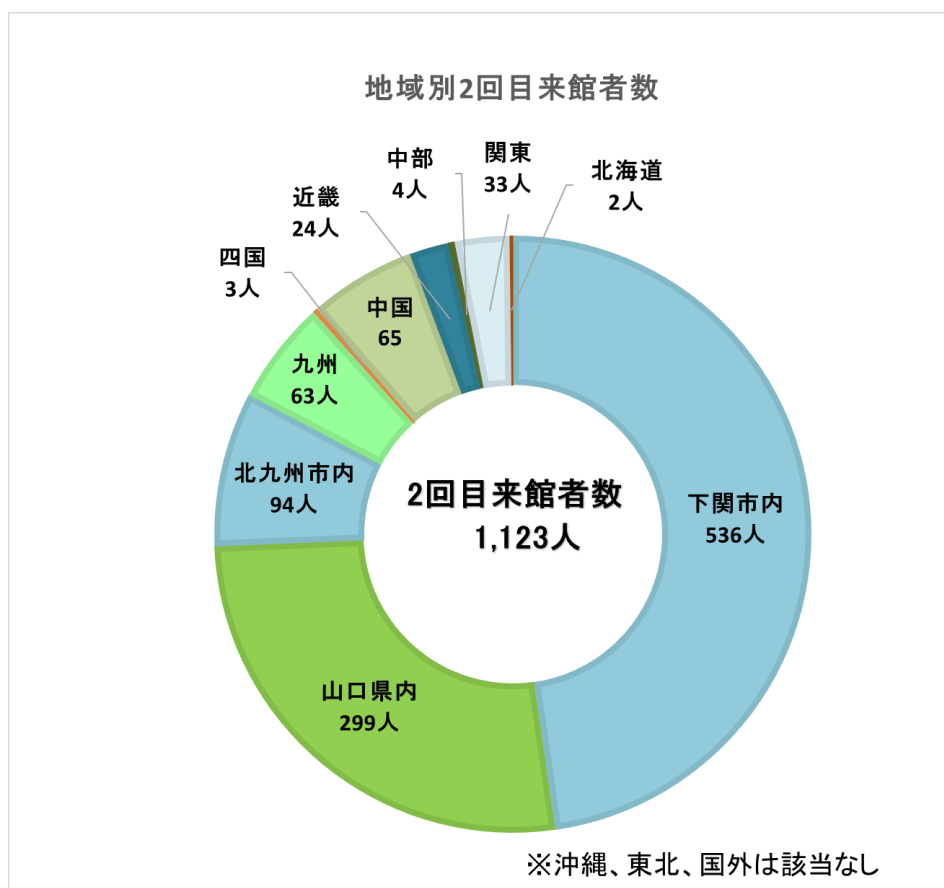
来館回数別にみた来館者の地域別の人数は、以下のとおり。

図 5. 地域別初回来館者数の人数



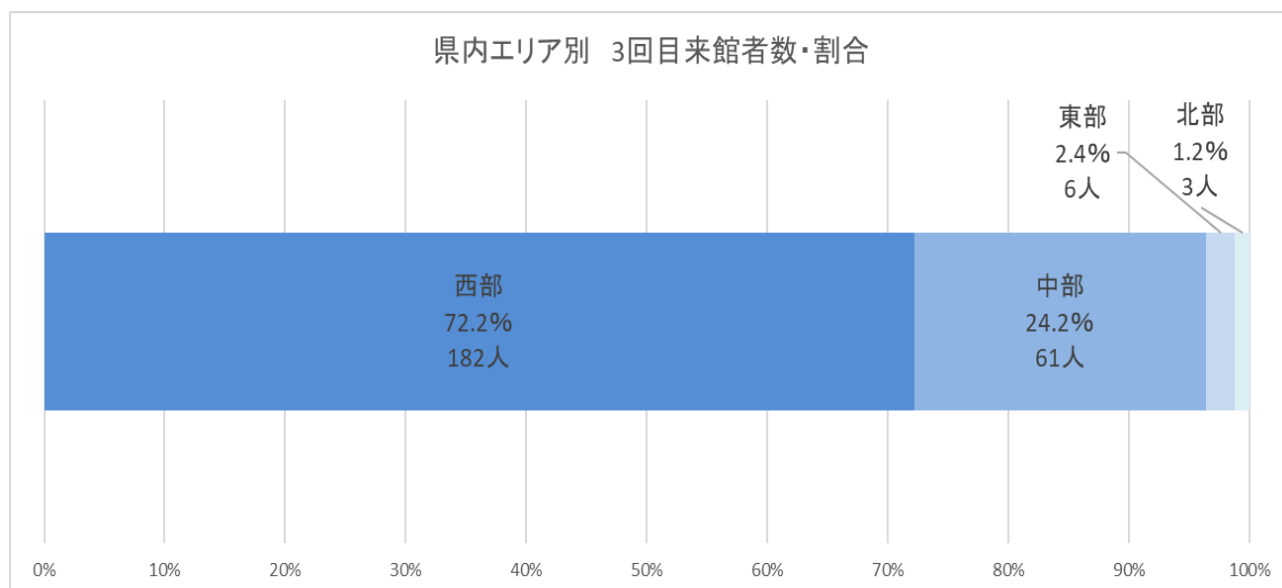
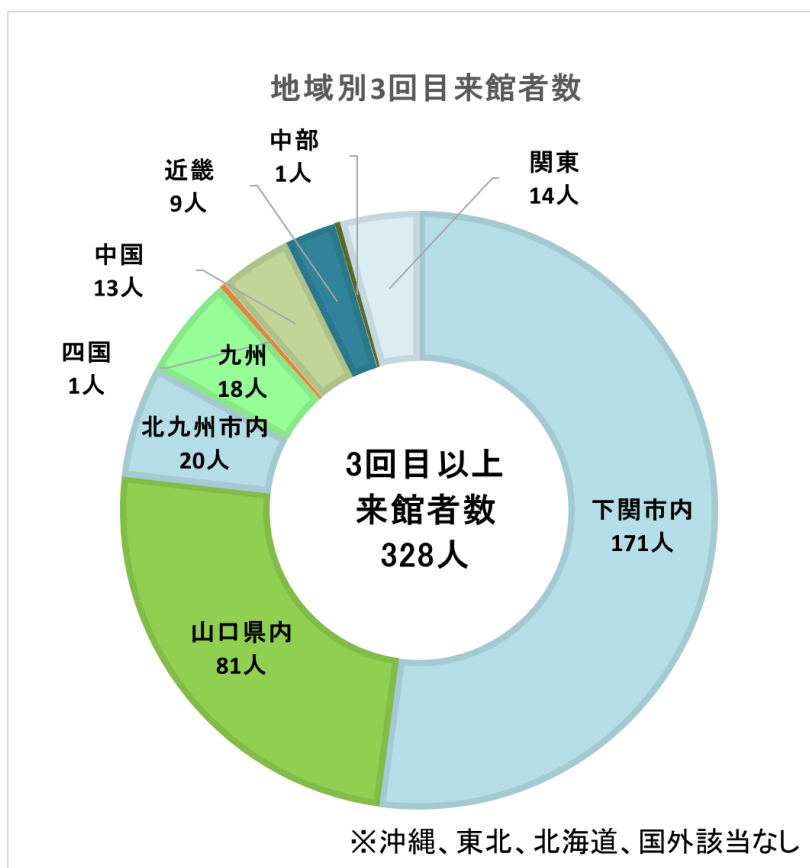
西部(1,996)	下関市(1,485)、宇部市(376)、山陽小野田市(135)
中部(720)	防府市(109)、山口市(486)、周南市(84)、下松市(41)
東部(216)	岩国市(158)、光市(32)、田布施町(9)、柳井市(14)、平生町(1)、周防大島町(2)、和木町(0)、上関町(0)
北部(219)	長門市(100)、美祢市(41)、萩市(78)、阿武町(0)

図 6. 地域別2回目来館者数の人数



西部(604)	下関市(536)、宇部市(46)、山陽小野田市(22)
中部(146)	防府市(26)、山口市(100)、周南市(18)、下松市(2)
東部(15)	岩国市(9)、光市(6)、田布施町・柳井市、平生町・周防大島町・和木町・上関町(0)
北部(70)	長門市(40)、美祢市(13)、萩市(13)、阿武町(4)

図 7. 地域別 3 回目以上来館者の人数



西部(182)	下関市(171)、宇部市(6)、山陽小野田市(5)
中部(61)	防府市(12)、山口市(44)、周南市(5)、下松市(0)
東部(6)	岩国市(3)、光市(3)、田布施町・柳井市・平生町・周防大島町・和木町・上関町(0)
北部(3)	長門市(0)、美祢市(1)、萩市(2)、阿武町(0)

B 令和7年度（2025年度）主要事業等について

1. 教育普及活動

（1）企画展 （3回）

①「令和7年度浜出祭写真展」

令和7年5月27日（火）～ 令和7年6月22日（日）

②「うごく・つながる #弥生人ー弥生時代の響灘ー」

令和7年7月1日（火）～ 令和7年11月24日（月・祝）

③「学芸員の“推し” 資料展」

第1弾

令和7年12月2日（火）～ 令和8年2月23日（月・祝）

第2弾

令和8年3月3日（火）～ 令和8年5月31日（日）

（2）体験学習講座

①予約制講座「二枚貝の腕輪づくり」

開催日：令和7年8月3日（日）

②いつでもできる体験学習

「ホネの発掘体験」、「土井ヶ浜弥生人なりきり体験」、「貝のアクセサリーづくり」

（3）出前講座

①「出前授業 自然人類学体験講座ホネホネウォッチング」（受講者は40名程度）

内容：専門学芸員が次のプログラムに沿って授業を実施

I. 土井ヶ浜遺跡の紹介

発掘した遺物を使って、下関の弥生時代の遺跡として著名な土井ヶ浜遺跡について授業を実施

II. ホネホネパズル

ホネの模型を使って、パズルの様に正しい位置に並べてもらい、ホネの名前や形、動き方について授業を実施

（4）講座・講演・講義

①山口県立下関西高等学校による校外体験学習

「夏休みディスカバリープロジェクト」の受け入れ

令和7年8月6日（水）探求科1年次生

②教員のための博物館の日

令和7年8月5日（火） 9：00～16：30 定員5名

2. 連携事業

①ふるさと学習

下関市立豊北小学校児童による研修田における赤米の田植え及び稲刈り
田植え：令和7年6月4日（水）実施済、稲刈り：10月下旬頃を予定

②山口大学埋蔵文化財資料館との連携協力

下関市蓋井島に所在する筏石（いかだいし）遺跡の出土遺物の調査を引き続き実施。

③山口県立下関北高等学校地域探究授業

山口県立下関北高等学校の地域探究授業に、博学連携授業として参加・協力。
今年度（2025年度）中に「角島の歩き方」を完成、刊行することを目標にして、昨年度の
取材結果をまとめ、まだ取材・調査していない場所（スポット）の探索や取材をおこなう。

3. 関連事業

①「こども文化パスポート事業」北九州市教育委員会主催

夏休み期間：令和7年7月19日（土）～8月31日（日）予定

②「弥生の御朱印巡り」鳥取県・とっとり弥生の王国推進課主催

令和4年より継続中。引き続き今年度も参加。

4. 調査・研究

①研究紀要の刊行

土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム研究紀要第20号の刊行を予定。

②九州大学アジア埋蔵文化財研究センターとの研究連携

土井ヶ浜遺跡の弥生時代人骨、鹿児島県南種子町広田遺跡出土人骨の共同研究を実施予定。

③発掘調査出土人骨および動物遺存体の鑑定

5. 広報等

①年報の作成

令和7年（2025年）度の活動報告として年報の作成を予定。

6. その他

①「休息所 ほねやすめ」の現状

②ハス池の現状

VII 協議

今後の運営等について

VIII その他